一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 令和４年第４回定例会

令和４年１２月６日

質問順	会派名 氏名	質問事項（要旨）
1	ＭＵＫＯクラブ 太 田 秀 明	1　健康増進センターと市民プールについて 2　クーポン事業について 3　住民訴訟について 4　公的な市民オンブズマンの設置について
2	令和新政クラブ 小 野 哲	1　向日市ゼロカーボンシティ宣言について 2　公共施設の整備について 3　安心安全のまちづくりに関して
3	日本共産党議員団 常 盤 ゆかり	1　多様な子どもの育ちを支える支援について 2　ヤングケアラーへの支援について 3　コロナ禍における子育て支援について 4　市役所東向日別館の駐輪対策について
4	令和自民クラブ 松 本 美由紀	1　向日市おうえん割引クーポン券について 2　ゼロカーボンシティ宣言・目指す環境づくり 3　市役所の利便性の促進について 4　共通投票所実施に伴う投票区の見直しについて
5	公明党議員団 長 尾 美矢子	1　予防接種（子宮頸がんワクチン、帯状疱疹ワクチン）について 2　妊娠、子育て支援について
6	杉 谷 伸 夫	1　小中学校に関する諸課題について 2　生活福祉資金の特例貸付の返済について 3　京都府営水道ビジョンについて 4　市民温水プールの再開にむけた方針と検討の現状は？
7	ＭＵＫＯクラブ 和 島 一 行	1　公園、その他の場所での猫の餌やりについて 2　健康ポイント事業について
8	日本共産党議員団 丹 野 直 次	1　物価高騰から暮らしと営業を守る対策について 2　来年度導入のインボイスは中止すること 3　仮称「交通基本条例」を創設することについて
9	令和自民クラブ 永 井 照 人	1　区事務所の役割について 2　「竹の径」保守から保全へ　について 3　都市計画道路建設の優先順位について
１０	公明党議員団 福 田 正 人	1　グリーンライフ・ポイントについて 2　フードバンク支援について

１１	村　田　光　隆	１　向日市おうえん割引クーポンについて。 ２　円安の影響。
１２	日本共産党議員団 米　重　健　男	１　JR 向日町駅について ２　JR 以東地域のまちづくりについて ３　阪急洛西口西側地区開発について ４　開かれた選挙のための投票率向上の取り組みについて ５　第 2 次ふるさと向日市創生計画について
１３	飛鳥井　佳　子	１　女性や子どもの視点に立った防災対策を！ ２　産後ケアの充実で「うつリスク」を減らすことについて ３　「子どもアドボカシー」導入の法改正を周知徹底することについて ４　戦争体験の語り部から学ぶことについて ５　ゼロカーボンシティ宣言について
１４	日本共産党議員団 北　林　智　子	１　子どもの命を守ることについて ２　小規模保育園卒園後の転園を保障すること等について ３　医療的ケア児について ４　保育士配置基準を改善することについて
１５	日本共産党議員団 佐　藤　新　一	１　向日市の水道はどうなるのか ２　向日市第３次環境基本計画について ３　「向日市おうえん割引クーポン」事業について
１６	日本共産党議員団 山　田　千枝子	１　健康増進センターの開設及び市民温水プールの進捗状況などについて ２　軍備拡大よりも介護や医療など社会保障こそ優先を ３　統一協会の反社会的活動の抜本的対策について市長の見解を

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	太田秀明	所属会派名	MUKO クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．健康増進センターと市民プールについて	①進捗状況を聞く ②小中学校のプール設備の老朽化の対応並びにプール設備のない中学校の水泳教育充実のために、市民プールの活用が有意義と考えるが教育委員会の見解を聞く。
２．クーポン事業について	①１回目の「向日市お買い物応援クーポン事業」２、３回目の「向日市おうえん割引クーポン事業」の違いと趣旨を聞く。 ②１、２回目いずれの事業も好評とのことであるが、反省材料は無かったのかを聞く。
３．住民訴訟について	①訴訟に対する思いと早期解決が望まれる今後の対応を聞く。 ②訴訟に至る行政の「説明責任」の捉え方を聞く ③課税地目の公表が、地方税法・地方公務員法等に抵触するとのことであるが、課税客体の地目が何故知り得た秘密に該当するのか、具体的な法的根拠を聞く。
４．公的な市民オンブズマンの設置について	① 以前の一般質問で、「本市が設置する場合には、どのようなオンブズマン制度が適しているのか等につきまして検討してまいりたいと考えております。」との市長答弁がございました。その後の、検討結果を聞く。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・~~分割~~）

質問者氏名	小野　哲	所属会派名	令和　新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．向日市ゼロカーボンシティ宣言について	１．宣言に至る検討経過について ２．今後の具体的な取組について ３．COP27 での合意内容について
２．公共施設の整備について	１．史跡乙訓古墳群保存活用計画(仮称)の策定状況について （１）予定地の維持管理状況について （２）関係者の協議内容と、今後のスケジュールについて ２．今後の市民温水プールの整備の進め方について （１）Park　PFI を導入して温水プールを整備した越前市の事例など民間の力が生かせるような手法をさらに検討されることを提案する。
3．安心安全のまちづくりに関して	１．信号機のない横断歩道での注意喚起灯設置について ２．新型コロナ対応ワクチンとインフルエンザワクチンの予防接種の勧奨について

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	常盤ゆかり	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１，多様な子どもの育ちを支える支援について	不登校や集団になじめない、勉強についていけないなど、様々な事情を持つ児童生徒への居場所とともに、ひらかれた相談体制について聞く。 １，本市でも、不登校や集団生活等になじめない児童生徒のための、「フリースクール」「校内フリースクール」への考えを聞く。 ２，民間のフリースクールへの支援について ① 現在フリースクールを利用している市の児童生徒は何人か。 ② 民間フリースクールへ運営補助金、または保護者の負担軽減、児童生徒・保護者へフリースクールの案内、紹介をするなど、支援することについてどうか。 ３，一人も取り残されることのないよう必ず相談窓口へつなぐことについて、窓口の強化と合わせていかがか。 ４，教育支援センターの設置についてどうか。 ５，フリースクールや適応指導教室以外にも多様な居場所づくり学習支援の設置場所を増設することについて考えを聞く。
２，　ヤングケアラーへの支援について	ヤングケアラーとは「サポートが必要な家族がいるためにケア（家事、家族の世話、介護、感情面のサポートなど）を担っている 18 歳以下の子ども」とされている。小中学校の教職員の半数近くがヤングケアラー、またはそれに近い家庭環境の子どもの存在に気づいたことがあるといわれている。 １，児童生徒のヤングケアラーの存在をつかむ調査はされているか。 ２，教職員に対してヤングケアラーの存在に気づいてからの対応や支援についての研修など行っているか。 ３，ＳＳＷや子ども家庭課との連携はあるか。 ４,「京都府ヤングケアラー総合支援センター」へつなげるなど、連携はされているか。これまで対応された事例はあるか。 ５，地域としてもヤングケアラーがすぐ近くにいるかもしれないという認識や知識が必要。市民への研修や講演会などの実施についていかがか。

３，コロナ禍における子育て支援について	コロナ禍において教育費など、保護者の負担軽減策が求められる。市の子育て支援施策について聞く。 １，今こそ学校給食の無償化を進めることについて。 「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を使って、学校給食費を無償にしている自治体が全国で７６の自治体へ広がっている。憲法２６条の「義務教育は無償」に基づき、給食費の無償化を求める。 ２，高校卒業までの医療費無料化拡充について。 市として安心して医療が受けられるよう、高校卒業まで（18 歳年度末）の医療費助成制度を拡充することを要望するがどうか。
４，市役所東向日別館の駐輪対策について	市役所東向日の駐輪対策について、以前にも議会で要望し改善策をとっていただいた。現在また駐車自転車であふれかえり、歩行者や配慮が必要な方の通行を困難にしている状況が見られる。早急な対策を求めるものである。 １，管理組合として現在の状況は把握されているか。 ２，どのような対策を考えておられるか。 ３，そもそも自転車の駐輪スペースが少なすぎる。また、自転車ラックの幅が狭く、持ち上げで上段へ乗せるのは至難の業。もっと使いやすい（使える）ラックへの改善を求めるがいかがか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	松本　美由紀	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．向日市おうえん割引クーポン券について	「向日市おうえん割引クーポン」事業について伺う。 **① 利用促進アップの好事業となった成果について** 多くの市民の方にも大変好評となった事業である。今回２回目実施の際の全体の使用率は８０．５％とお聞きしているが、広く市民の皆様に利用が促進した理由として新たにどのような取り組みの工夫をなされたのか、ぜひそのお取り組みの努力と具体的な成果についてお尋ねする。 **② 利用店舗の拡充について** ウクライナの侵略や急激な円安の影響などによって市民生活の不安は依然として続いている状況である。これまで以上に物価高騰となり暮らしが危ぶまれる今こそ、市民の皆様の生活支援のため、ある店舗のみに一極集中することのないよう特に食料品に関しては利用店舗の拡充を要望するがいかがか？
２．ゼロカーボンシティ宣言・目指す環境づくり	本市が目指す環境づくり、第３次向日市環境基本計画について、以下本市が目指す環境づくりについてお尋ねする。 **① 市民会館など公共施設への太陽光パネルの設置** 今般の燃料高や下ではウクライナ情勢が不透明性を増し、燃料調達リスクが かつてないほど高まっている。今般の燃料調達リスクを考慮し、公共施設においては太陽光パネルを設置するなど太陽光発電をはじめとした多種多様な再生可能エネルギーの活用を検討してはいかがか？ **② 公共施設等周辺での受動喫煙防止について** 平成 31 年 1 月 24 日から改正健康増進法の一部が施行され、喫煙者に対して「喫煙をする際の配慮義務」、多数の者が利用する施設の管理者に対して「喫煙場所を設置する際の配慮義務」が課せられることとなった。望まない受動喫煙が生じないよう、公共施設の周辺、特に公共交通機関

	周辺地域での受動喫煙防止について、本市ではどのように対策をされているか？また今後の取り組みについて伺う。
３．市役所の利便性の促進について	現在市民課窓口においてはマイナンバーカードの発行希望者が多く来庁くださり窓口が大変混雑し長時間お待ち頂いている状況である。窓口利用の利便性の向上に関して伺う。 **① 待ち時間の短縮に関する取り組み** 待ち時間の混雑緩和策としては、千葉県市川市での取り組まれている DX 施策が SNS で話題となっている。未使用のカメラを接続するだけで最低限のコストでできる取り組みとなっている。ぜひ本市においても市川市の取り組みを参考に導入していただきたいと考えるがいかがか？
４．共通投票所実施に伴う投票区の見直しについて	現在本市選挙管理委員会において、市内の全投票所を「共通投票所化」し、市内の投票所のどこからでも投票できる取り組みを計画されており、市民の皆様へのパブリックコメントの集約を行われたところである。その点に関して以下お尋ねする。 **① 投票区の再編について** 例えば、西山高校と向日台団地の投票所が閉鎖された場合、坂道を登って向日市役所に向かうのが困難な市民の方々などを含め寺戸公民館への集中が増すことが地域においても懸念されている。その点についてはどのようにお考えかご見解を伺う。 **② 参政権の意義とその保障について** 参政権は当然ながら保障されるべき基本的人権を政治参加を通して確保していく重要な権利である。高齢者や障害者へ投票における合理的配慮を欠くこととならぬよう弱者に対する配慮・対策が必要である。具体的にはどのように対策をお考えか伺う。 **③ 人口増加地域における投票所の増設について** 投票区ごとの有権者数に偏りが生じており特に洛西口周辺地域は大きなマンションが立ち人口が増加しているエリアである。近隣の公共施設等を活用して新たな投票所を設置する必要もあると考える。どのようにお考えか伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	長尾美矢子	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．予防接種（子宮頸がんワクチン、帯状疱疹ワクチン）について	●HPV（子宮頸がんワクチン）について ①対象者への通知の現状はどうか ②今年度、昨年度の接種率はどうか ③9 価ワクチンの効果、安全性についてはどうか ④9 価ワクチンへの対応、周知はどうか ●帯状疱疹ワクチンについて ①公費助成の取り組みの現状について ②府、国への要望活動について
２、妊娠、子育て支援について	① 妊産婦への相談体制について ●現在の本市の状況について ●子育て拠点との連携について ●親同士のつながりについて ②流産、死産を経験した方へのグリーフケアについて ●本市の現状について ●取り組み状況について ③妊産婦への経済支援について ●現在行われている経済支援について ●妊娠時、出産時に 5 万円ずつ支給される経済支援についてどのように進めるか

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・~~分割~~）

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 小中学校に関する諸課題について	（１）不登校の児童・生徒に対する支援について ① 欠席日数が９０日以上の児童生徒は何人か。 ②学校への復帰を促す以外に、学校以外の居場所の必要性についての考えは？ ③フリースクール、フリースペースなど不登校の子どもたちの支援施設で把握しているものは？ ④適応指導教室を定期的に利用している児童生徒は何人か。 ⑤年間９０日以上欠席の児童生徒のうち民間のフリースクール、フリースペース等の支援施設を利用しているのは何人か。 ⑥フリースクール、フリースペース等を設置する民間の取り組みに対する支援・連携について。 ⑦不登校など課題を抱える子どもと保護者への相談・支援体制を抜本的に強化して頂きたい。フルタイムで専門職のＳＳＷを配置することについての考えは？ ⑧適応指導教室について (1) 教育支援センターに名称変更するべきではないか。 (2) 施設・人員体制の見直しについて。 （２）就学援助制度の利用促進について 来年度どう改善して頂けるかについて聞く。 ①就学援助を受けることのできる基準の公表 ②わかりやすい利用基準の説明 ③制度の利用促進のための改善策 （３）小中学校のプールの今後のあり方について、 ・検討の現状と今後は？ ・結論はいつ頃に出す予定か。

２． 生活福祉資金特例貸付の返済について	新型コロナ感染症の影響による生活困窮者支援として実施されてきた生活福祉資金特例貸付の返済が来年から始まる。前例のない規模であり、多くの返済困難者が続出することが危惧される。向日市が、相談窓口である社会福祉協議会と連携し、必要な支援を実施するための課題について聞く。 ①本市の生活福祉資金特例貸付利用者の実態と、返済困難者の見通しについて ②返済困難者に対しては、どのような支援が準備されているでしょうか ③社会福祉協議会の相談体制と、向日市行政との連携について
３． 京都府営水道ビジョンについて	「京都水道グランドデザイン」と、「京都府営水道ビジョン」の改定作業が進められている。本市の水道事業の今後のあり方に関わるので、市の考えを聞く。 ①このビジョン案に対する本市の受け止め、評価 ②本市の意見を、京都府にどう伝えてきたか。 ③京都府の協議の場で、市長はどのような意見を述べたのか。乙訓の他市町の意見は？ ④京都府営水道ビジョンに、本市はどの程度拘束されるのか、されないのか。向日市議会でしっかり説明し意見を聞くことについて。
４． 市民温水プールの再開にむけた方針と検討の現状は？	市民温水プールについて、夏に行われた市民アンケートで再開を望む声が多く出された。再開にむけた今後の方針と検討の現状について聞く。 ①「市民温水プールの今後の方針」について説明を。 ②今後の検討方法について ９月定例会以降の検討状況について聞く。市民の関心は高いので、検討状況については随時公表し、透明性をもって進めていただきたい。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括質問）

質問者氏名	和島一行	所属会派名	MUKOクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．公園、その他の場所での猫の餌やりについて	公園やその他の場所でのノラ猫への餌やりで住民同士がトラブルに発展しているケースが見受けられる。これは本市に限ったことではない。 本市としてどのようにトラブルを起こさせないような取り組みを考えているのか伺う。 本市の公園では「猫の餌やり禁止」という保護猫活動家から見ると冷たい看板が掛けられている。 本来なら、地域に生息しているノラ猫は地域猫として愛されて、そこで一代限りの生涯を終えることがその猫にとって大変幸せなことである。 もちろん、ノラ猫に餌をやらなかったら当然死んでしまうわけだが、地域猫のお世話や TNR の知識のない地域住民がかわいさあまりに無秩序に餌だけをあげて、食べた後の片付けも怠り、ほったらかしというケースが見られ、それにより公園に糞尿被害、鳴き声等の苦情が生じることになる。 もちろん市側としたら温かく本市のノラ猫を見守る立場であるが、主に子どもたちが遊ぶ公園でそういうことが頻繁に起こることは衛生面では非常に良くないが、保護猫活動家にはつらいところだが、冷たく見える看板を掛けざるを得なくなる。 　そこで大阪市では「公園猫適正管理推進サポーター制度」という取り組みがある。大阪市では、平成 22 年度から飼い主のいない猫対策として、「所有者不明猫適正管理推進事業」を実施しています。この事業は、飼い主のいない猫をこれ以上増やさない、そして、地域住民と猫が共生するという考え方に基づき、地元の合意のもと、猫の不妊去勢手術を行い、その一代限りの命となった猫を、地域の猫として地域のみなさんが主体となって適正に管理する取組みです。 　この「公園猫適正管理推進サポーター制度」は、「所有者不明猫適正管理推進事業」の趣旨に基づいて公園で活動していただける市民の

	方（市民ボランティア）を公園のサポーターとして登録し、公園の猫を適正に管理するための活動を行っていただくための制度である。 　こうしてきちんとしたノラ猫の適正管理を地域住民に勉強して頂き認識を深めることでノラ猫関係でのトラブルを回避できるのではないか。市としてこの取り組みの所見を伺う。
２．健康ポイント事業について	平成 30 年から行われている本市の健康ポイント事業だが、参加者の増強を図る為に令和 3 年度は達成者への商品の拡充をしたが、コロナの影響で応募者数は減少したようである。 それに対し令和 4 年度以降の予定は市内商工業者と連携し、インセンティブとなる商品の拡充を図り、電子媒体の活用等、広く事業の周知をする予定とあるが参加する際に、高齢の方がわざわざ窓口に取りに行くという作業はハードルが高い。そして時代はポイントカードの時代は終わり、アプリでポイントをためるように移行している。アプリを開発すると高額な費用が発生するので行政は常に費用対効果を考えあきらめている傾向がある。　それを市独自で開発するのではなく、企業側が様々なスマホアプリを開発しているのでそれを導入することで費用は抑えられるのではないか。所見を伺う。

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1、物価高騰から暮らしと営業を守る対策について	1、物価高騰の影響から市民生活に効果のある消費税５％を政府に対し要求すべき。 2、高齢者の単身者世帯の場合、年収が非課税世帯水準を少し超えた程度の低所得者の対策を行うこと。 3、電気、ガス料金の異常な値上げが予定されているが今後、市の物価対策として継続的に減免することについて、中小企業・個人事業者支援について年末資金繰りやコロナ対応融資（ゼロゼロ融資）返済ができないで困っているところに救済の「別枠債務」とすることと返済見込みが立たない個人零細事業者への金融機関貸し渋りへ対応すること。 4、会計年度任用職員の処遇改善について、制度スタートから２年半経ち、週３０時間勤務者の給与では暮らしに支障がでていると思われる。物価上昇加算手当を創設できないか。今後、速やかに時給１５００円と一時金増額と定期昇給と退職金手当改善の見込みについて伺う。 5、以前は「調整手当」として全職員の給与に含まれていたが、「行革」によって今は「地域手当」と名称がかわった。乙訓２市１町の状況を伺う。向日市の「地域手当」を元に戻すこと。

2、来年度導入のインボイスは中止すること	１、市長は政府に対し、インボイスの中止を求めること。 ２、市が発注又は購入している事業者にインボイス登録「適格請求書」を求めるのか、非課税業者、免税事業者を守り排除されないようにすべきだが見解は。シルバー人材センターに登録されている多くの高齢者会員さんの「請負」契約の場合について伺う。
３、仮称「交通基本条例」を創設することについて	１、５月のダイヤ改正で北、南ルートを延長して東山と向日台団地前の２カ所のバス停が増えた。乗客はどのように変化したのか。（実施後の月別の状況比較） 2、前議会で伺っていた件を改めて問う。初めての試みとして、『５０周年！乗ってつなごう！無料お試し乗車』が8月8日から8月19日の間と「夏休み期間中のエコキッズ」も取組まれた。その実績と評価について伺う。再度企画することについて伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	永井　照人	所属会派名	令和自民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 区事務所の役割について	自治会組織に加入しない世帯が増えているが区事務所の役割とは何かを問う
２． 「竹の径」保守から保全へについて	本市の主要観光地である「竹の径」の将来の保全計画について問う
３． 都市計画道路建設の優先順位について	今後計画されている本市の都市計画道路の工事着工の優先順位を交通渋滞や歩行者に危険のある所から優先にするよう要望する。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、グリーンライフ・ポイントについて	グリーンライフ・ポイントとは、環境省が実施する事業で「環境に配慮した行動に対してポイントが付与される制度」である。 ① 本市でのグリーントランスフォーメーション（GX）についての考えを伺う。 ② 日本の温室効果ガス排出源の６割以上が「衣食住」の分野であるが、市民へのライフスタイルへの転換に対する取り組みについて伺う。 ③ ２０５０年ゼロカーボンを目指す本市と企業が連携し、グリーンライフ・ポイント制度を導入した環境に配慮したライフスタイルへの転換についての所見を伺う。 ④ 本市を走行する「ぐるっとむこうバス」に今後導入を検討されては如何か。
２、フードバンク支援について	フードバンクとは、家庭や企業から余った商品を集めて、必要とされる人や団体に無償で提供する団体のことである。 ①向日市まつりが３年連続で開催が見送られ、そこで実施されていたフードドライブ（不要な食品を持ちよってもらう事）が中止された。定着しかけていた活動が市民の意識から離れていくことを懸念する。現状と今後の対応について伺う。 ②常設の集積場所の設置についての考えを聞く。 ③生活困窮者支援の観点からフードバンクとの関係強化について伺う。 ④ 近年配布先を広げ、多くの必要とする人に配布を行おうとしている。本市の支援の考えは。 ⑤ フードバンクが抱える課題として、運営・活動の経費不足や食品入手不足問題がある。支援の考えは如何か。 ⑥ 子供への休校中の食品配布が、近年広がっている。子供への休校中の昼食支援についての考えを伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１．向日市おうえん割引クーポンについて。	向日市おうえん割引クーポンがこの秋に実施されたが、特定の食料小売店に偏りすぎる問題が起こっている。 特定の店舗に極端にお客さんが偏り、クーポンの取り扱いから除外されている同業者の売り上げを圧迫している。 今秋のクーポン事業の問題点を市は把握していなかったのか。 問題点を把握した上で、次の応援事業を行うべきではないのか。 冬のおうえんクーポンを実施すれば同じ問題が起こるのではないのか。
２．円安の影響。	円安により、我が国の物価は高騰し、国民生活に影響を及ぼしている。 本市の運営や市の事業における影響も少なくないと推察される。 その影響と対策を伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１，JR 向日町駅について	本来ならば東口の開設のみで済むところが、ＪＲ西日本は駅の橋上化、東側の再開発を条件としてつけ、本市に不要な支出を求めている。市は支出を最小限に抑えているとしているが、東口のみを開設した場合と比べけた外れの負担になっている。再開発事業は鉄道貨物の規模縮小を背景に利用価値の低下した向日町駅東側のＪＲ貨物敷地を収益化しようと言う試みで、駅周辺については商業区画の形成や駅舎改修等理解できるものの、タワーマンションの建設は、補助金を目当てに利潤を追求する JR の都合を最優先にしたものであり、向日市のまちづくりには全く不必要で貴重な税金の無駄遣いという以外には理解できないものである。ここは京都市との連接地域でもある。タワーマンションの建設が行われれば、京都市に一定の影響を与える事になると考える。 １，JR 向日町駅の情報公開について 図面等の情報が向日市情報公開条例 6 条の非公開事由にあたるとしているが、2 項但し書きの規定により情報公開は可能であると考えるがいかがか。 ２，タワーマンションについて 本市における立地条件は隣接地とわずかに 10m ほどである。隣接住宅地の良好な住環境の保全、少なくとも現状維持について何らかの対応を取るべき。 ３，駅周辺地域の情勢について 京都市で向日町駅周辺地域の高さ規制解除が報道された。まちづくりの総合的なデザインは京都市側の計画や影響を強く受けるが今後のまちづくりについて京都市側との連携はどうか。
２,JR 以東地域のまちづくりについて	JR 向日町駅及びニデックパークの整備が進む中で本市でも市民温水プールなどの再整備が議論に上がっている。牛ケ瀬馬場線の整備が進められる中で、今後のあり方について、市民の意見を踏まえ合意形成をはかる形でのビジョンはどの様なものであるか。

	１，JR 向日町駅からニデックパーク、ゆめパレアをつなぎ活性化をはかることについて ２，市民温水プールを中心とした交流拠点の形成 ３，市営駐車場について 　1 時間の無料時間では用事が済ませられないなどの声が聞かれ、不便さが目立つ結果となっている。無料時間の延長を行われてはいかがか。 ４，日本電産の森本東部地区開発について 　地域住民の方が、日本電産に要望書を出されている。市でも日本電産に申し入れていただきたい。
３，阪急洛西口西側地区開発について	阪急西側地区における開発事業は本年 10 月に説明会があった。原案で宿泊施設や医療施設、温浴施設などの誘致があったが、説明会では宿泊施設などはなかった。計画当初との差異について問題はないのか。 １，本計画を推進した根拠についてうかがう。 ２，2 期に分けての計画だが、固定資産税や都計税の課税はどの様になるか
４，開かれた選挙のための投票率向上の取り組みについて	「共通投票所実施に伴う投票区の見直し（案）」で、現行の 13 投票所を 9 投票所へと削減する方針が示されている。選挙の民意反映を阻害するのではないか。 １，理由としてコロナ対策での密の回避は、他に使える場所を探すべき。削減の根拠は何か。 ２，勝中から鶏冠井公民館の一帯で投票所が 800m 前後の距離となり高齢者には遠い距離である。物集女町北ノ口付近では 800m 以上となる。これらの地域に対して投票所を設置するべきではないか。 ３，郵便投票の対象要件は投票者の実態に合わせた適用基準に緩和をするべき。歩行が困難な方に対して郵便投票の代わりとなる方法を考えて頂きたい。
５，第 2 次ふるさと向日市創生計画について	進捗状況の内、B と評価されているものの一部についてうかがう。 １，「ゾーン 30 区域の拡大」について現状と今後の見通しについてうかがう。 ２，「名神高速道路スマートインターチェンジ開設事業」について現状と今後の見通しについてうかがう。 ３，「幼児教育・保育のベストマッチを推進」について待機児童対策の課題と見通しについてうかがう。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	飛鳥井佳子	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１． 女性や子どもの視点に立った防災対策を！	南海トラフ地震が想定されて久しいが、日本の避難所対策は劣悪である。プライバシーの確保のできる、車いすの方も使用できるトイレや、授乳のための個別のテントを用意すべきだがどうか。 災害時、特に子どもや女性は性犯罪の危険があり、普段からしっかり地域や学校で人権教育や性教育の取り組みが必要だが、所見と今後の取り組みを問う。
２． 産後ケアの充実で「うつリスク」を減らすことについて	「子育て」を「孤育て」と呼ばれる今日、厚労省はようやく「産後ケア全自治体調査」に乗り出し、24 年度末までに事業を全国展開するが、当市はどのように回答されたかを問う。 人員の配置や施策の充実のため、国へしっかり予算要求すべきだが所見を問う。 京大では AI が LINE 運用で専門家の知見を知ったり、アドバイスする研究開発がされているが、検討してはどうか。 「うつリスク」への認識と具体的な方策について問う。
３． 「子どもアドボカシー」導入の法改正を周知徹底することについて	本年 6 月に児童福祉法の改正がされた。親からのネグレクトや虐待にあって、なんとか生き延びた子どもたちが、児童養護施設や里親家庭などの「社会的養護」を受けているが、その中でうつになるような状況もあるので、今後は法の意図に沿い、当事者である子どもの意見を尊重するため、法改正を周知徹底し、アドボケイトを要請してほしい。また「18 才の壁」のために保護を離れた「ケア・リーバー」の方々への支援にも取り組んでほしいが所見を問う。

４． 戦争体験の語り部から学ぶことについて	10 月 30 日に寺戸公民館で大阪大空襲を体験された米津惟さん（85 才）のご講演をお聞きし、感銘を受けた。当市にはこのように優れた語り部の方々が、老人会やシルバー人材センター等に多くおられると思うので、是非、この方々に平和学習への活動の場を作って欲しいかどうか。
５． ゼロカーボンシティ宣言について	政府と環境省が、ようやく地域脱炭素移行、再エネ推進交付金を予算化したことにより、現在 797 の自治体が「カーボンニュートラル 2050」にのっとり、「ゼロカーボンシティ宣言」をし当市も 10 月 1 日にしました。当市の竹林や西の岡丘陵、はり湖池エリアの自然を守りぬく決意について問う。また太陽光発電と蓄電池を併用して導入すると電力を効率よく使えるので、向日市としてサポートしていただきたいが所見を問う。原発は、この夏のピーク時にもわずか 4%供給していたに過ぎず、結論としてやはり原発は必要なく、子どもが被爆し小児がんになる原発の放射能災害を考えると、子どもホスピスをつくることこそ大事である。気候危機回避のためには原発や、石炭火力といったベースロードの適正化を実現することが急務であり、戦時のウクライナで原発周辺が攻撃されたり、特に日本は地震列島であり、原発が突然停止するリスクの方が大問題である。向日市が脱原発社会づくりを目指すべきだが所見を問う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	北林 智子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１、子どもの命を守ることについて	１１月１２日大阪府岸和田市などでの、子どもを車に置き去りにして死亡する事故は相次いでいる。この他、静岡のバス置き去りの事故など、子どもが犠牲になる事故が後を絶たない今、この向日市でも事故が起こらない様、対策が必要ではないか。どのような対策がされているか伺う。 ①本市では、岸和田市の事件を受けて、どのような話し合いや検討がされたか。 ②公立保育所では、現在、連絡なしで登園していない子どもについて、どのように対策されているか。 ③全民間保育園への確認は、徹底されているか。
２、小規模保育園卒園後の転園を保障すること等について	子どもや保護者が安心して子育てできる向日市へ、小規模保育園卒業後の転園について伺う。 ①希望に沿わない入所決定の場合、保護者のニーズと保育所・園の数のマッチングには齟齬があり難しい問題ではあるが、その中でも、少数であれ、行政として困難に直面した保護者に寄り添う対応が求められる。現在、事情を考慮した対応をどのようにされているか。 ②この20年ほど待機児童解消のため保育所が増えてきた。しかし今後、保育所利用数は、2025年がピークを迎え、全国的にも待機児童も解消されていくという見方もある。その一方、乳児を育てながらも働く女性は増えており、今後も小規模保育園は重要な子どもたちの育ちの場になると考える。 1）働く女性を支え、子どもの発達を保障するため、３歳児　入園時の保育園等入園選考が円滑に決定できるルールの更なる充実や整備等が、必要ではないか。（「保育施設利用調整基準」を含む）

傍聴者　配布資料

３、医療的ケア児について	令和３年９月１８日に「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」が施行されてから、１年が経過した。現在の向日市での医療的ケア児の保育施設等での受け入れについて伺う。 ①医療的ケア児の就学前教育・保育の必要性について、子どもの育ちを保障する観点から本市の見解を伺う。 ②現在、本市では医療的ケアが必要な児童のうち、保育所に入所されている方、保育所の入所を希望されている方、検討されている方は合計４人とお聞きしている。今後、希望される方の入所を可能とするため、保育所への施設設備の改修、看護師・保育士の確保、保育士の医療的ケア（喀痰吸引、栄養注入等）に関する研修、支援の充実のための要綱作成、医療的ケア児の情報の早期把握、受け入れ可能な保育施設の把握、民間保育所への補助金の確保、関係機関や関係課、保育施設との連携等、どれくらいの体制整備を検討されているか。
４、保育士配置基準を改善することについて	保育所は、親も子どもも保育士も育ち合うところ。 保育は、人生の最初の6年間、人の一番根っこのところ（自尊心や社会性や自己肯定感など）を育てる専門性の高い仕事である。本来は、普段から少人数でゆとりのある保育が必要なのだと改めて思う。1人の保育士が担当する子どもの数は、5歳児の場合、日本は30人で70年前のままです。スウェーデン6人、アメリカ9人、ドイツやイギリスは13人。全ての子どもに格差なく等しく質の高い保育が保障されることを願い、保育士配置基準を改善することについて伺う。 ①本市でも、市独自で予算をつけ、もっともっと保育士配置基準の拡充することはできないか。 ②国へ更に強く求めていただきたいと思うがいかがか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括・分割）

質問者氏名	佐藤　新一	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．向日市の水道はどうなるのか	国の水道法が２０１８年に改訂され、都道府県に人口減少を予測し安定的に給水できるように都道府県に指示。それを受け京都府がグランドデザインを策定。向日市含南部市町を単位に合理化を進める中で、自己水（地下水）を放棄し府営水一本中心の動きがあり、地球温暖化の中で災害に強く SDGS₂重視の地下水中心の水道事業にするように求め、具体的な提案と質問を行う。
２．向日市第３次環境基本計画について	世界中で地球温暖化による災害の規模と被害が広がる中で、COP27 において、期待された温室効果ガス排出削減対策強化については、昨年の COP26 を上回るものになりませんでした。 向日市第３次環境基本計画について、 ① 市民への計画の周知。 ② 古紙等集団回収助成金事業、古紙回収拠点を増やすことを求める。 ③ 資源ごみが増える中で月２回の資源ごみの回収回数を増やすことを求める。 ④ 市長はゼロカーボンシティ宣言を踏まえ開発案件に対して CO^2 の排出規制についてどのように考えておられるのか。
３.「向日市おうえん割引クーポン」事業について	地元業者の方からは消費が増え喜ばれる一方、 ２０％が未使用の方がおられる。 ① 改善の方法として、すべての人に恩恵を得る方法として水道料金の減免。 ② ２０％の方の未使用理由の把握状況。 ③ 向日市に本店登録されている新鮮激安市場をクーポン利用できるように市民の声にどうこたえるのか。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書（総括）

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．健康増進センターの開設及び市民温水プールの進捗状況などについて	開設目前となる健康増進センターについて ① 健康増進センターの開設日及び今までの使用方法・プログラム・利用料金なども以前どおりか。体育館のトレーニング機器と増進センターの予防機器とのすみわけはどうなるのか。 ② 体育館のトレーニング機器の場所の今後の使用法について　③健康増進センターや体育館のトレーニング機器利用者への説明会などを行って頂きたいがどうか。 市民温水プールについて ④ 市民温水プールの進捗状況について問う。
２．軍備拡大よりも介護や医療など社会保障こそ優先を	急激な物価高騰で国民生活の悪化が深刻になっている。ところが政府は2022年度予算の軍事費5兆1788億円をさらに5年間で軍事費を2倍化といい、社会保障の予算を犠牲にする大軍拡に踏み出そうとしている。国を守るためといいますが、国民の暮らしを守るのを優先することが国の守り事。軍備の拡充はこれでいいというゴールはない。軍拡で首がまわらなくなると戦争を始めることになりかねない。軍拡のためにはすべてがまん、がまん！欲しがりません勝つまでは・・それよりも今必要なのは外交力を鍛えることと考える。介護や医療改悪はとんでもない。介護保険の改悪について①この間、市は要支援１、２を総合事業でやってきた。3カ所の地域包括支援センターを中心にされてきたが、総合事業の結果はどうだったのでしょうか。②介護保険の見直しで要介護１、２を保険給付から外した場合の市の介護体制はどのようにするのか。③利用料の引き上げ、ケアプランの有料化、貸与の福祉用具を購入に変更することなどの見直しがされたら十分な介護が受けられると考えているのか。見直しはやめるべきと意見をあげて頂きたいがどうか。④全額公費で介護従事者の給与引き上げ、従事者を大幅に増やすなど国に求めて頂きた

	いがどうか。⑤マイナンバー保険証の義務化をやめるよう国に働きかけて頂きたいがどうか。 ⑥後期高齢者の窓口負担を 1 割に戻すよう国に求めて頂きたいがどうか。 ⑦国保料の値下げを行って頂きたいがどうか。⑧小中学校の健康診断時による上半身脱衣での実施を見直し、着衣での実施を早期にすることについてどうか。
３．統一協会の反社会的活動の抜本的対策についての市長の見解を	今、明らかにされているように統一協会の国会議員、地方議員や地方自治体への浸透を解明・追求し、今度こそ、うやむやにさせず被害を根絶することが必要。まずは現行の法律、条例でできることに徹底的に取り組むことが必要です。 これ以上の被害者を出さないための予防、啓発や脱会者の支援体制、また宗教法人法にもとづき統一協会の解散命令を出すことも必要だと考える。統一協会の勧誘行為自体が憲法 20 条の信教の自由を侵害すると 2001 年の札幌地裁判決が断じたり、これまで多くの協会の責任を認めた民事判決がある。ところが統一協会は霊感商法が初めて刑事事件として懲役刑をうけた 2009 年に「コンプライアンス宣言」をし、2015 年に「世界平和統一家庭連合」に名称変更するなかで、今回の安倍元首相襲撃事件までの１５年間位はマスコミも統一協会問題を殆ど取り上げてこなかった。その中で政治的には安倍派を中心とする自民党への浸透とか「天宙平和連合」や「平和大使協議会」また市長が面談された「ピースロード」など平和を冠した色々な関連のダミー団体をつくり、その団体名で地方議員や地方団体に浸透してきた。「勝共連合」も日本において自民党・保守政治家を取り込むためのダミー団体に他ならない。勿論、安倍派を中心とした自民党が、選挙での票目当てに持ちつもたれつの「ズブズブの関係」を築いてきたことの責任は徹底的に明らかにしなければならない。昨年、市長は統一協会関係の方々と面談され、今後は十分調査するとの事でした。①その後、これまでで統一協会系の方々との面談や関係はなかったでしょうか。②統一協会について市長の見解を伺う。③統一協会系の信者や、その家族への市相談窓口の設置を。